

民進党代表選に向けた各候補者への要請と質問

原発のない社会をめざす地方議員ネットワーク

グリーンテーブル代表

山田 実 (前滋賀県議会議員)

ゆさ みゆき (宮城県議会議員)

私たち「グリーンテーブル」(原発のない社会をめざす地方議員ネットワーク)は福島原発事故が起こった2011年春の統一地方選挙において選ばれた議員として、福島原発事故を踏まえ「原発に頼らない地域社会をどう構築していくか」について考えようと、2012年に結成した全国地方議員ネットワークです。

私たちはこれまで「民主党時代のエネルギー基本政策の立案」「各種選挙のマニフェストづくり」「明日のエネルギーを考えるイベントの開催」「地方の意思を踏まえた党運営の改善についての党本部に働きかけ」など地方から国政を変える取り組みを進めてきました。

福島第一原発事故は未曾有の大災害をもたらしながら、原発事故から5年を経過した今日でも原発事故を克服できず新たに多くの課題が山積しています。

福島第一原発事故による「国富の流出や喪失」がいまだなお続いている現状を見るにつけ、未来世代に責任を持つ政治家である私たちは、これまで「原発を前提に構築されてきたエネルギー社会」の社会構造転換を図る必要性を強く感じます。

日本全土が「フクシマ」にならないために、この原発事故を教訓に「原発に依存しない日本」を創り上げることは未来世代に対する私たち政治家の責任です。

すでに、民進党は「2030年代原発ゼロ」を掲げています。

しかし、それを「単なるスローガン」ではなく、民進党が「何としてでも2030年代末までに原発をゼロにする」ということを示し、多くの有権者に民進党が目指す社会づくりの方向を理解してもらうためには、民進党が国民に「原発がなくなったあとの経済・産業・雇用・福祉・教育・生活・交通・物流・通信・金融など『トータルな新しい社会構想』」を示し、その実現に向けての具体的な提案をすること」が不可欠だと考えます。

こうした中で9月2日に告示される民進党代表選挙が行われます。

そこで、これまでの取り組みを踏まえ「グリーンテーブル」から各候補者の方々に、下記の要請を行います。同時に、私たちの要請に対する候補者のお考えをお伺いいたします。

民進党代表選挙への各候補者のお考えをより多くの人々に知ってもらうため、9月10日までにご回答をお願いいたします。

記

1. 「2030年代原発ゼロ」を実現することへの意思確認

国民の多くが「原発はない方がいい」と思っています。「原発に頼らないエネルギー社会を構築すること」は私たちが目指すべきこの国の形だと考え、私たちはこの目標に向かって民進党が強く政治のリーダーシップをとることを強く要請します。

そこで、あなたは「2030年代原発ゼロ」の実現を明確な目標として掲げますか？

あなたの「思い」とともにお聞かせください。

2. 「2030年代原発ゼロ」を実現するための「工程表」の作成

「2030年代原発ゼロ」は2030年代の早い時期に達成することが望ましいことはいまでもありません。「2030年代原発ゼロ」を堅持されるとして、その具体的な「行程」を示すことが大事だと考えます。

そこで「2030年代原発ゼロ」へ向けての工程づくりについてお考えをお聞かせください。できるだけ具体的にお願いします。

3. 国政の原発・エネルギー政策の優先順位

「原発ゼロ社会」は「トータルな新しい社会を創造する」ということにほかなりません。経済をはじめ多くの分野に影響を与える原発・エネルギー政策は最優先の政策課題であると認識すべきだと考えます。そこで、国政における「原発・エネルギー政策の優先順位」についてのお考えを伺います。

4. 地方議員や地方の意見を反映した党運営

従来の民主党は地方や地方議員の意見を聞くことに熱心でなかった印象があります。

政治の課題は地方にあり、未来を切り拓く現場は地方にあります。民進党は地方や地方議員の声を踏まえた党運営を図るべきだと考えます。

地方議員や地方党員、サポーターの意見を反映した党の運営についてのお考えをお聞かせください。

さらに、政策別の民進党地方議員もメンバーとした政策調査会を設置すべきだと考えますがお考えをお聞かせください。

5. そのほか、民進党地方議員に対しての思いがあればお聞かせください。

よろしく申し上げます。